

第8回甲信地区2国立大学法人公共工事入札監視委員会議事概要

1. 議事概要

開催日時及び場所	令和6年9月10日(火) 14:00~16:35 山梨大学甲府キャンパス本部管理棟第1会議室			
委員	委員長 近藤 徹 (弁護士) 委員 阿部 和久 (大学教授) 委員 田中 佑幸 (公認会計士・税理士)			
審議対象期間	令和5年4月1日~令和6年3月31日			
	抽出案件(合計)	3件	(備考)	
	工事(小計)	2件		
	一般競争入札(政府調達に関する協定対象工事)	件		
	一般競争入札(上記工事を除く)	2件		
	工事希望型競争入札	件		
	通常指名競争入札	件		
	随意契約	件		
	設計・コンサルティング業務(小計)	1件		
	簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	件		
	一般競争入札	1件		
	随意契約	件		
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回 答		
	別紙のとおり	別紙のとおり		
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	別紙のとおり			

2. 確認事項 14:00~

審議に先立ち、委員長は「甲信地区2国立大学法人公共工事入札監視委員会実施要項」第4条に基づき、委員の互選により、近藤委員を委員長として委員会審議を進めることとした。

引き続き、事務局から、審議対象期間「令和5年4月1日~令和6年3月31日」の間に契約した案件の中から、委員会実施要項に基づき、あらかじめ田中委員に審議対象案件の抽出を依頼し、3件を抽出していただいた旨を説明した。

(内訳)

- ・工事: 2件
- ・設計・コンサルティング業務: 1件

3. 審議事項〔進行:委員長〕

3-1) 工事(山梨大学) 14:10~14:40

【(下河東)ニューロン-グリア クロストークセンター山梨(仮称)新営電気工事】

山梨大学から低入札価格調査を実施した工事における、概要、分析等について【資料 2-1】に基づき説明があった。

意見・質問等	回答
<p>・低落札率となった理由について。</p> <p>・労務費等に不適切な価格設定はなかったか。</p> <p>・入札のあった2者(タツミエンジニアリング・清水電設)の具体的な違いについて。</p> <p>・低入札価格調査対象基準・評価点等について。</p> <p>・総合評価の際、入札価格が最低基準価格を下回った場合に評価点が減点になるのか。</p>	<p>・①公共工事及び民間工事ともに施工中の手持ち工事が少なく、技術者が配置可能であること。</p> <p>②監理技術者と現場管理人を兼任することで、現場管理費が削減できること。</p> <p>③長年取引のある代理店及びメーカーの協力により、低価格で資材調達が可能であること。</p> <p>④施工に必要な機械及び測定機器等の機材が十分確保できること。</p> <p>⑤長年協力体制にある下請け会社の協力が得られること。</p> <p>⑥契約対象工事場所と本社及び営業所・倉庫が近く、地理的条件が良いため、資材機材の搬出入、作業員の通勤費等の経費削減、緊急対応の際も費用を抑えた対応が可能であるため、施工コストの削減が可能であること。</p> <p>・不適切な価格設定は見受けられない。資材の金額の差によるところが大きい。</p> <p>・動力設備などで見積額に大きな差があった。</p> <p>・当該工事における、調査基準価格は予定価格の約92%。 最低基準価格算出表及び「建設工事における総合評価落札方式の実施方針」評価値算出方式を提示。</p> <p>・ならない。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・低入札件数が多い理由、対応策について。 ・最低制限価格は決めているか。 ・低入札価格調査を実施した結果として1位の業者と契約していることについて。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公表単価による積算なので、調査基準価格が高い訳ではない。理由は案件ごとに異なるが、傾向として工事の特殊性も関係している。学内 LAN 配線や建具改修、屋上防水工事などの場合、その内容に特化して経費削減可能な業者が参加した場合には低入札価格となりやすい。見積書徴収の際には、今後注意していきたい。 ・国の機関の場合は決められない。 ・低入札価格の理由を十分調査の上、総合的に施工可能か否か判断している。見積りで明らかに内容が欠落している場合には、再確認の上、施工不可能な場合は入札後辞退という結果になる。
--	--

3-2) 工事(信州大学)14:40~15:10

【(松本)水・エネルギー共創研究センター(仮称)新営その他電気設備工事】

<p>信州大学から低入札価格調査を実施した工事における、概要、分析等について【資料 2-2】に基づき説明があった。</p>	
意見・質問等	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・「一般管理費で人件費率の低減を図った」とはどういう意味か。 ・請負業者は品質・安全な施工が可能、人員確保可能と説明しているが、実際可能か否かの確認を行っているか。 ・費目別に比較して問題は無かったか。価格の差があるので、聞き取り調査以外で、どの程度分析しているのか。外部委託の場合に、下請けへのしわ寄せが起きていないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事場所と支店が近隣であったため、対応しやすく、一般管理費が低減できるためと聞いている。 ・予定価格と入札金額の内訳書を比較し、乖離が大きい項目については、施工可能か再確認を行う。 また、辞退しても国交省や自治体の入札への参加に影響しないことを説明し、無理な受注をしないように話をしている。 ・電燈設備(分電盤、照明器具)、動力設備(分電盤)、受変電設備(盤関係)の項目で金額の開きが確認され、直接工事費で差が出ている。材料費が大きく占めており、機器関係を多く仕入れるため、スケールメリットで安く仕入れることが可能。下請け経費を絞るような体制ではない。

<ul style="list-style-type: none"> ・3者中、落札者以外の2者は、ほぼ同じ入札額、1者のみ突出して低い入札金額。どのように予定価格を設定しているのか。 ・総合評価落札方式の加算点に差が無いのが一般的なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省の基準に基づいた積算額。専門業者から見積りを徴取したうえで、予定価格を算出している。 ・配点は案件ごとに決定しているが、加算点は概ね8点～15点位の差となっている。
--	---

3-3) 設計・コンサルティング業務(信州大学) 15:10～15:30

【(松本)水・エネルギー共創研究センター(仮称)新営実施設計業務】

信州大学から少額・不落随契以外の設計業務における、概要、分析等について【資料 2-3】に基づき、説明があった。

意見・質問等	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・基本設計と実施設計を分けて発注しているのはなぜか。 ・基本設計業務の契約相手方との随意契約とあるが。 ・見積の提出が1者からと分かっている状況で実施設計業務の価格を抑えようとする企業努力が働くのか。 ・予定価格の決定方法について ・実施設計が高くなるような基本設計を行うという意図が働くことはないか。 ・補助金が財源の場合、「補助金だから、安くなくても良い」という意思が働かないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本設計は学内予算、実施設計は補助金を財源としており、補助金は交付決定後でなければ契約できない。工程上交付決定前に基本設計を進める必要があったため。 ・基本設計業務の実施業者は簡易公募型プロポーザル方式にて決定したが、その手続きにおいて関連する実施設計について随意契約する予定であることを公示しており、公示時点から条件等の変更がなかったため、予定通り契約を締結した。 ・予定価格を定めた上で見積合わせを行っているため、予定価格の範囲内での金額提示をもって契約となる。価格を抑える努力は働くものと捉えている。 ・国土交通省が公表している設計業務の算定基準に基づいている。設計事務所もその基準によって見積金額を算出していると思われるため、与条件に基づき算出した結果に大きな差が出るとは考えにくい。 ・基本設計の段階で大学側から規模を示しており、それに基づいた提案を審査し受け入れているため、実施設計の内容を設計事務所側で意図的に操作することはない。 ・補助金は大学から申請し、交付決定される。申請に対して全額交付されない場合もあり、大学とし

<p>・基本設計業務の簡易公募型プロポーザルの結果が分かる資料はあるか。</p>	<p>でも補助金を有効に活用するための、経費削減に取り組んでいる。</p> <p>・【資料 2-2】審議対象工事説明資料(工事)(信州大学)7/12 ページの「技術提案書評価表」を基に説明。</p>
--	---

3-4)「建設工事一覧表」・「設計・コンサルティング業務一覧表」・「点検対象事業及び点検対象事項」(山梨大学・信州大学) 15:30～15:50

<p>各委員に事前にご確認いただいている【資料 1-1】【資料 1-2】【資料 3-1】【資料 3-2】について、ご指摘があれば、委員から質疑をいただく。</p>	
意見・質問等	回答
<p>・低落札率の抽出判断基準が落札率 50%以下の理由について 50%ではなく、本来の工事毎の最低基準にした方が良い。</p> <p>【山梨大学】</p> <p>・資料 3-1 点検対象事業及び点検対象事項「今後の改善策等」の記載にある「公告方法」の具体的な方法について。</p> <p>・資料 3-1 点検対象事業及び点検対象事項「今後の改善策等」9/10 ページ 4 番随意契約「山梨大学(医病)中央診療棟 4 階内科医局改修機械設備工事」について、「診療に対するリスク回避」とは具体的にどんなリスクか。</p> <p>【信州大学】</p> <p>・資料 3-2 点検対象事業及び点検対象事項「今後の改善策等」が「特になし」の理由について</p>	<p>・文部科学省で行われている入札監視委員会の項目に倣って作成した。 最低基準にします。</p> <p>・地域要件として、山梨県及び隣県だけではなく、全国に広げている。 参加資格の施工実績の面積を小さくするなど、要件を緩和している。 発注見通しを文部科学省・本学のホームページ、地元の建設新聞に掲載し、業者の参加意欲向上を図っている。</p> <p>・外来診療を行っているため、不特定多数の人が訪れる。診療行為に影響が出ないよう、配慮が必要な事項が特殊なため、大学での施工実績がある業者に発注した。</p> <p>・地域要件実績要件も最大限緩めているが、品質確保のためには一定の要件は求めなければなら</p>

<p>発注時期の平準化も一つの工夫である。</p> <p>・工期の設定基準について</p> <p>文部科学省に改善を促す意味でも、議事録へ残してください。</p> <p>・信州大学の資料 3-2 点検対象事業及び点検対象事項「今後の改善策等」の「特になし」と言う記載について、早期発注等、努力している事項を今後は記載するように。</p> <p>【山梨大学】</p> <p>・信州大学は 1 者応札の案件について、ヒアリングを行っているが、山梨大学はヒアリングを行っていないので、業者に対してできる限り情報収集に努めるように。</p> <p>【山梨大学・信州大学】</p> <p>・全く応札者がいなかったケースはあったか。また、あった場合どう対応したか。</p>	<p>ない。今後取り組める改善策が現状ではないため、「特になし」とした。</p> <p>早期発注に努める。</p> <p>・過去の実績を鑑み、期間を設定している。新営の建物は、規模や構造、建物用途によってある程度の目安がある。改修では、案件ごとに内容が大きく異なることも多いため、大学側の経験則と業者へのヒアリング結果を目安としている。</p> <p>今後課題となってくるのが、週休 2 日工事への対応。完全週休 2 日制を掲げている企業もあり、工期の設定が長引くことが予想される。週休 2 日制対応が求められる前に決定していた補助事業では単価割増し分については積算に含んでおらず、割増し分が追加で補助されることもないため、対応に苦慮している。</p> <p>(山梨大学)</p> <p>・業者には建設新聞等で公告を確認するよう呼び掛け、公平性に留意しながら不調にならないように努力している。</p> <p>(信州大学)</p> <p>・不調案件は 1 件あった。再公告では令和 5 年度内の完了が困難と判断し、令和 6 年度予算により改めて一般競争をおこなった。</p>
--	--

指摘事項:なし。各大学における入札手続きについて、適切に行われている。

個別意見:

【資料 2-1】について

国においても、地方自治体同様に最低制限価格を検討していく必要があるのではないかと。信州大学も含めて、低入案件における根拠を示した分析資料を、次回から簡単で良いので数値で示して欲しい。できれば各応札者の積算、概要版で検討した結果資料を添付していただきたい。意見ではなく、お願い。

【資料 2-2】について

入札した3者中、2者は上回ってはいるが予定価格に比較的近い金額であり、落札した1者が突出した金額を提示している。このような事案は、特に注意深く詳細に調査するよう留意すること。

【資料 1-1】【資料 1-2】【資料 3-1】【資料 3-2】について

- ・次年度以降、低落札率 50% 以下ではなく、事業ごとの低入札調査基準以下の案件で抽出していただきたい。
- ・山梨大学では、1 者応札の際に公告対象を広げたり、参加事業者の地域を広げたり、発注見通しを早めに公表するなど、色々な努力をされているので、引き続きその取り組みを進めていただきたい。
- ・信州大学では、業者等から 1 者応札であった理由のヒアリングをされているとのことだったので、事例を積み重ねることにより、1 者応札の理由が把握できるように、今後もこの努力を続けていただきたい。

4. 講評 16:25～16:35

5. 事務連絡(次年度への引継ぎ事項)

- ・第 9 回甲信地区2国立大学法人公共工事入札監視委員会の当番校は信州大学。
- ・今年度末に各委員の任期が満了となるが、次年度以降の2年間も引き続きお三方にお引き受けいただく。